

## 佐賀県における職場での熱中症の発生事例（令和3年度）

番号	月	業種	年代	事例の概要
1	7月	警備業	60歳代	交通誘導業務の終了直後、急に立てなくなり、手がけいれんしたため、救急搬送され、熱中症との診断を受けた。
2	7月	運送業	60歳代	倉庫内の荷物の上で玉掛作業を行っていたところ、めまいと吐き気の症状が出たため、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
3	7月	運送業	50歳代	工場の敷地内の屋外で荷物をトラック荷台に積み込む作業を行っていたところ、脇腹、背中及び手先等の感覚に違和感を感じたため、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
4	7月	建設業	20歳代	工事現場で測量作業を行っていたところ、体がだるくなり、水分補給したものの、手足にしびれが出てきたため、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
5	7月	建設業	40歳代	水道管工事の終了間際に、急に汗が出なくなったため、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
6	7月	保健衛生業	20歳代	屋外での保育指導業務の直後、吐き気、意識障害及び大量の発汗並びに手とふくらはぎのしびれ及び過呼吸の症状が出たため、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
7	8月	製造業	40歳代	工場内で、製品検査及び梱包作業を行っていたところ、頭痛と吐き気の症状が出たため、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
8	8月	製造業	30歳代	工場内での終業直後、更衣室で手足のけいれんと嘔吐の症状があり、救急搬送され、熱中症との診断を受けた。
9	8月	製造業	50歳代	鋼材の切断作業中に倒れ、受診したところ、熱中症との診断を受けた。
10	8月	製造業	40歳代	製造ラインで通常業務を行っていたところ、倦怠感と手足がけいれんする症状が出たため、救急搬送されて、熱中症との診断を受けた。